

政策シート 政策名 03 交通安全対策

予算費目名 01 道路企画費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後) ◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱 (10年後) ◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 04 安全な生活基盤づくり

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

①市民の交通安全意識の向上
②幹線道路における交通事故抑止対策
③通学路の交通安全対策
④生活道路の交通安全対策

(3) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑪都市	⑬気候変動	⑰実施手段					
-----	-----	-------	-------	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	4,146,661	3,365,044	4,238,501	3,581,797		
決算	3,365,007	3,949,662	3,534,371			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	51,800	62,531	62,454	62,300		
年間経費(予算又は決算+A+B)	3,416,807	4,012,193	3,596,825	3,644,097		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
事故危険箇所対策等事故削減対策(51箇所)整備率(%)	%	目標	70	70	70	80	90	100
		実績	50	65	70			
交差点等事故削減対策の実施箇所数	箇所	目標				20	20	20
		実績						
道路照明灯LED化更新率	%	目標	80	45	50	55	60	65
		実績	38	43	67			
人身交通事故発生件数(件)	件	目標	6,000	6,000	2,500	2,500	2,500	2,500
		実績	6,582	5,570	5,375			

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

・市民が安全・安心に生活できるように道路が適正かつ持続的に保全され、交通事故や災害が少ない都市を実現する。

①市民の交通安全意識の向上
②幹線道路における交通事故抑止対策
③通学路の交通安全対策
④生活道路の交通安全対策

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 進んでいる

・連続して人身交通事故を削減(△195件)
・幹線道路における交通事故抑止対策は、国道257号の右折レーン設置工事が完了。
・道路照明灯LED化更新事業は、国県道等の交通量が多い幹線道路の連続照明を優先してLED化したことにより、安全性が向上した。
・通学路の交通安全対策では、グリーンベルトや注意喚起標識の設置等、計52箇所の対策を実施した。
・生活道路では、側溝蓋掛けなど歩行空間確保による安全対策を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	交通安全施設等整備・修繕事業	○	○	○		3,294,641	3,270,141	3.5				
2	道路照明灯LED化更新事業	○	○	○		191,612	184,612	1.0				
3	交通安全推進事業		○	○		157,844	127,044	4.0			1.0	
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						3,644,097	3,581,797	8.5			1.0	

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 交通安全施設等整備・修繕事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・自動車交通分担率が約67%と突出している本市においては、歩行者(高齢者や子ども、障がいのある人等)及び自転車などの交通弱者の安全対策が重要であり、「人優先」の考えの下に安全で安心な道路交通環境の整備を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1952	-	一般会計	自治事務(法令義務)	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律・交通安全対策、基本法・社会資本整備重点計画

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-1(1)ア				
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	35	87	148	195	

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑪都市	⑰実施手段					
事業とゴールの関連性		安全、安心な歩行空間の確保、バリアフリーの推進により、誰もが暮らしやすい快適な生活環境の実現が可能となる。					

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,970,712	3,105,429	3,050,321	3,270,141		
	決算	3,155,930	3,691,565	2,925,153			
	国・県支出	429,227	893,683	666,894	680,818		
	市債	235,600	1,197,400	245,900	488,000		
	その他	587		414	400		
	一般財源	2,490,515	1,600,482	2,011,945	2,100,923		
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		17,500	24,500	24,472	24,500		
人工	正規	2.5	3.5	3.5	3.5		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		3,173,430	3,716,065	2,949,625	3,294,641		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
国道257号連尺交差点外1箇所平面横断化整備率(%)		-	目標	65	65	65	70	80	100
			実績	50	50	50			
事故危険箇所対策等事故削減対策(51箇所)整備率(%)		-	目標	70	70	70	80	90	100
			実績	50	65	70			
交差点等事故削減対策の実施箇所数		-	目標				20	20	20
			実績			20			
自転車通行空間等整備率(%)	35		目標	70	70	70	80	90	100
			実績	60	60	65			
JR弁天島駅(国道301号)UD化整備率(%)	195		目標	5	10	70	100	100	100
			実績	5	5	5			
通学路整備要望対応率(%)	87		目標	60	60	60	60	60	60
			実績	76	65	58			
中規模要望(高判定)の残件数(件)※2018年度末時点における累積未実施分(土木部全体)	148		目標	335	212	92	46		
			実績	328	200	44			

2022年度

(管理番号)

分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
03 04 03 01 002314000 01 道路企画課 中津川 英彦 2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

【2019(R1)-2022(R4)重点戦略項目No.35、No.87、No.148、No.195】
・幹線道路等の国交付金を活用した「歩道等の整備」及び「交差点改良」の実施(継続事業)
・幹線道路等の「事故危険箇所」、「交通事故多発交差点」等における事故削減対策の実施(継続事業)
・通学路整備要望(市内小・中学校)による「通学路」等の安全対策の実施(継続事業)
・歩行者と自転車利用者、相互の安全性向上を目的とした自転車通行空間等整備の実施(継続事業)
・各区からの交通安全施設の要望に基づく「道路照明灯」、「道路反射鏡」、「防護柵」、「区画線」、「道路案内標識」等の設置及び修繕の実施
・市単独事業 中規模要望
[決算2,488,410千円(うち前年度繰越768,866千円)]

5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・事故対策は計画通り実施したことにより、対策実施箇所では約4割の事故削減効果が得られた。
・自転車通行空間等整備は、指標である整備率70%を達成できなかったが、自転車交通量が多い県道浜松雄踏線等において、矢羽根型路面標示の設置が完了したことにより、安全性が向上した。
・JR弁天島駅前(国道301号)のUD化は、市内全域UD化の優先順位を踏まえ、駅及び周辺のUD化と一体的に進める必要がある。
・通学路の安全対策は、浜松市通学路交通安全プログラムに基づいた各小中学校等の要望について、歩道設置や路肩を利用した歩行空間の改善等、52箇所を実施し、指標である対応率60%を概ね達成した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・事故件数の減少要因の一つとして、新型コロナウイルスの蔓延に伴う外出の自粛・移動の制限等が想定される。今後の感染状況や“WITHコロナ”によるライフスタイルの変化により、移動の機会が増加していくことを、前提とした安全対策の推進が必要となる。
・「電動ボード」のように、新たな交通手段に対する安全対策について、柔軟に対応していくことが求められる。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・交通事故発生状況別に各種事業が展開されており、現状の事業の中で、地域要因等により変化する事故形態に対応し、効果的な対策を実施する。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・AIを活用し、事故要因の分析や危険箇所を効率的に把握し効果的な事故対策に努める。
・AI分析により、事故発生リスクの高い箇所を予測することで、事故を未然に防ぐための広報に取り組む。
・第11次浜松市交通安全計画に基づき、通学路や生活道路における歩行者の安全確保を最優先とした対策を推進するとともに、事故総量の削減に向けた重点的な対策を実施する。

7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019(R1)-2022(R4)重点戦略項目No.35、No.87、No.148、No.195】
・対策箇所の選定や対策の検討に当たっては、AI技術を活用し、車両走行データ等のビッグデータ活用した事故分析により、潜在的な事故危険箇所を含めた危険箇所の抽出などを実施する。
・歩行者の安全確保を最優先とし、通学路整備要望(市内小・中学校)による通学路等の安全対策を実施する。
・「ゾーン30指定区域」等における面的な安全対策の実施により、歩行者・自転車の安全確保を図る。
・自転車事故削減のため、自転車活用推進計画に基づき、交通量が多く、自転車事故の発生割合が高い路線の自転車通行空間整備を実施する。
・中規模要望事業として幼稚園や小・中学校周辺の歩行空間整備などの要望を優先的に実施する。

補助シート(重点戦略事業工程表)

(事業名) 01 交通安全施設等整備・修繕事業

◇【2019～2022】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
35	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行空間整備工事 ・国道152号 ・市道中央住吉線 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行空間整備工事 ・国道152号 ・市道元城鹿谷1号線 ・市道曳馬中田島線 ・太平洋自転車道線 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行空間整備工事 ・国道257号 ・主要地方道浜松雄踏線 ・市道曳馬中田島線 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行空間整備工事 ・国道257号 ・主要地方道浜松雄踏線 ・市道曳馬中田島線
87	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路整備要望の対応 ・要望117件／実施89件 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路整備要望の対応 ・要望157件／実施102件 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路整備要望の対応 ・要望120件／実施70件 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路整備要望の対応 ・要望見込み130件／実施予定80件
148	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模要望事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模要望事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模要望事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模要望事業の実施
195	<ul style="list-style-type: none"> ・JR弁天島駅前(国道301号UD化(詳細設計)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR弁天島駅前(国道301号UD化について、市内の平面横断化の中で検討) 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR弁天島駅前(国道301号UD化について、市内の平面横断化の中で検討) 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR弁天島駅前(国道301号UD化について、市内の平面横断化の中で検討)

事業シート (事業名) 02 道路照明灯LED化更新事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

道路照明灯のLED化により消費電力量の削減に伴うトータルコストの縮減(電球の長寿命化による維持管理コストの縮減)やCO2排出ガス削減等の環境負荷の低減を図ることを目的とする。
また、安全で円滑な道路交通の確保を図るとともに、倒壊防止など防災上の観点から道路施設の適正な維持・更新を推進するため、経年劣化する道路照明灯の計画的な修繕・更新を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2015	2019	一般会計	自治事務(法令義務)	道路法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-1(1)ア						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	143						

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑪都市	⑬気候変動	⑰実施手段						
事業とゴールの関連性		消費電力量の削減による電球の長寿命化、CO2排出ガス削減により自然環境の改善に役立つ。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	55,000	135,720	1,061,699	184,612		
	決算	95,941	135,719	491,764			
	国・県支出	19,360	42,500	219,200	40,806		
	市債				36,700		
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	76,581	93,219	272,564	107,106		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		10,500	7,119	7,077	7,000		
人工	正規	1.5	1.0	1.0	1.0		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		106,441	142,838	498,841	191,612		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
道路照明LED化更新率(%)		143	目標	80	45	50	55	60	65
			実績	38	43	67			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野

03

基本政策

04

政策

03

予算費目

01

所属コード

002314000

事業

02

(担当課)

道路企画課

(責任者)

中津川 英彦

(基準日)

2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

【2019(R1)–2022(R4)重点戦略項目No.143】

- ・道路照明灯について、消費電力が少なく維持管理コストの縮減や環境負荷の低減にもつながるLED灯に更新する。また、老朽化等により劣化が進んだ支柱について、LED化と併せて更新(交換)する。
- ・国道152号、(主)浜松雄踏線、(市)東三方都田線等の1,200.基のLED化を実施した。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・道路照明灯LED化更新事業は、国県道等の交通量が多い幹線道路の連続照明を優先してLED化したことにより、消費電力量やCO2排出ガスが削減され、環境への負荷を低減した。
- ・概ね点検結果に従い、更新ができているが、LED化が困難な「デザイン灯」などの道路照明灯がある。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・中心市街地では、景観や地域性(商店街等)に配慮した「デザイン灯」が多く設置されている。このため、LED化に際して、同一規格の資材調達が困難なことや事業費の増加が問題となり、関係者等との調整(汎用性デザインや標準化型への変更)が必要となる。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・国の補正予算を活用し、道路照明灯のLED化が推進された。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・技術的な実績を積みながら、着実に事業を実施する。
- ・交通量の多い国県道の道路照明灯LED化を完了。
- ・市道の道路照明灯LED化を促進する。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019(R1)–2022(R4)重点戦略項目No.143】

- ・交通量が多い国県道の道路照明灯LED化を完了する。
- ・中心市街地の市道に設置されたデザイン灯のLED化を進める。

事業シート (事業名) 03 交通安全推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

交通安全に関する知識の普及、交通安全意識の高揚を図るための安全教育並びに交通安全広報活動の実施により交通事故総量の削減を図り、交通事故のない社会を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1971		一般会計		交通安全対策基本法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略		(施策)							
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	157						

(4) 関連するSDGsのゴール

③保健	⑪都市	⑰実施手段							
事業とゴールの関連性		交通事故のない安全な社会を目指し交通事故防止に取り組むことで、交通事故を削減し、誰もが暮らしやすい快適な生活環境を実現する(究極的には交通事故ゼロ)。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	120,949	123,895	126,481	127,044		
	決算	113,137	122,378	117,454			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	113,137	122,378	117,454	127,044		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	23,800	30,912	30,905	30,800		
人工	正規	3.0	4.0	4.0	4.0		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0	1.0		
年間経費(予算又は決算+A+B)		136,937	153,290	148,359	157,844		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
人身交通事故発生件数(件)		157	目標	6,000	6,000	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績	6,582	5,570	5,375			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

【2019(R1)–2022(R4)重点戦略項目No.157】

- 交通安全指導員設置事業負担金を交付し交通安全教育を推進した。シミュレーター等を活用した体験型教室の実施等、高齢ドライバーを対象とした教育の充実を図った。※交通安全指導員設置事業負担金 = 各警察署に配置される交通安全指導員の設置費を県と市で2分の1ずつ負担
- 人口10万人あたりの人身交通事故件数ワースト1(政令指定都市中)からの脱出を目指し、交通事故の大幅事故削減を図るため、浜松市交通事故防止対策会議負担金を支出するとともに、対策会議を開催し、作戦内容等を協議・決定及び実行した。
- 各季の交通安全運動期間 やゼロの付く日(10日、20日、30日)には、交通安全啓発広報(立哨、広報車等)を実施し交通安全意識の高揚を図った。
- 交通安全看板、横断旗、のぼり旗、啓発品等を配布した。
- 高齢者の夜間歩行時の事故と高齢ドライバー事故を防ぐため、市福祉部局の高齢者向け郵便物に啓発チラシ(17,000枚)と反射材を同封し配布した。
- 高齢ドライバー事故の防止に向け、警察等を連携しサポカー体験会(12回)を開催した。(2020:4回)



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・浜松市交通事故防止対策会議が展開する浜松市交通事故ワースト1脱出作戦において、関係団体が、個別に、また連携して取り組んだことにより、2021年においては対前年195件を削減、これにより作戦開始からの7年間で3,540件を削減し5,375件となった。
- ・数値目標であるR2年末までに6,000件を下回る数値目標を達成したことにより、新たな目標「令和7年までに2,500件以下」を掲げ取り組んでいるが、未達成。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・2021年(令和3年)11月から衝突被害軽減ブレーキ装備について、国産新型車への装着が義務化。
- ・2022年(令和4年)5月からサポカー限定免許が導入される。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・高齢運転者の事故防止を図るため、サポカー体験会の充実に努めた。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた非接触型の広報として、交通安全週間以外にも積極的に広報車による広報を拡充して実施し、直接ドライバーへ交通安全を呼び掛けた。
- ・市内発祥のキャラクターを用いたポスター・チラシによる広報・啓発を実施した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・高齢者等を対象としたサポカー体験会の拡充。
- ・自転車利用者に向けて、交通ルールやマナーの周知。
- ・市内事故の発生状況や事故の特徴を知る機会の提供。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

【2019(R1)–2022(R4)重点戦略項目No.157】

- 交通安全思想の醸成のための事業
 - ・広報啓発活動
 - ・交通安全指導員(子供や高齢者等に対し交通安全教育を行う(市内6署に34人))の設置に対する負担
- 浜松市交通事故防止対策会議の運営(事務局事務)
- 高齢者等を対象とした安全運転講習会やサポカー体験会の拡充と、先進安全機能を備えたサポカーの情報発信
- 自転車利用者に対する、交通ルールやマナーの向上を図るオリジナルのぼり旗の作成、掲示
- 県警や自動車メーカーがインターネットで公開している「交通事故危険箇所マップ」の周知と活用の推進

